

項目	集計結果に対する学校の見解
1	保護者が91%、児童が88%の肯定的回答となりました。児童一人一人にとって、学校が安心して楽しく学べる場となるよう、更に各教育活動の創意工夫に努め、全児童が学校生活を楽しめることを目指します。不安や悩みを抱えている児童には、保護者の方と連携して迅速に対応していきます。
2	保護者・児童とも肯定的回答が80%以上となりました。昨年度に引き続き「あいさつレベル⑤」を取り入れ、児童自身にあいさつの状況を振り返らせ、意識化を図りました。小中学生と一緒に取り組む「あいさつ運動」も行いました。来年度も、あいさつの定着に向けた指導を重視していきます。
3	保護者・児童とも肯定的回答が80%程度でした。言葉遣いについては教員向けアンケートでも課題と感じている教員も多くいました。大人がお手本として丁寧で温かい言葉を使うことが大切です。教員が範を示すとともに、良い言葉を褒めて、子供たちが繰り返し遣いたくなるようにしていきます。
4	保護者・児童とも肯定的回答が90%以上となりました。友達と仲良く過ごせているかは、児童が学校生活を楽しみ過ごすための大きなポイントとなります。来年度も、毎学期の初めに「いじめ防止」に関する授業を全学級で行い、いじめがなく友達と仲良く過ごせるように指導を徹底していきます。
5	保護者が95%、児童が85%の肯定的回答となりました。児童が思いやりの気持ちを育てられるように、道徳を中心に全教育活動で「心の教育」を推進していきます。また、たてわり班活動や幼保小交流、地域との交流等、異学年・異年齢との交流活動の一層の充実・改善にも努めていきます。
6	保護者が50%、児童が65%の肯定的回答で低い数値となりました。読書習慣は、ここ数年の本校の課題ですが、残念ながら十分な改善に至りませんでした。読書については来年度福生一中とも連携して朝読書の回数を増やし、児童の読書環境の充実を図り、読書習慣の定着を目指していきます。
7	保護者が78%、児童が77%の肯定的回答となりました。各種学力調査でのC・D層の児童の割合が高いことが、学力における本校の課題となっています。日々の授業改善はもちろんのこと、個に応じた丁寧な指導、ドリルパーク等を活用した習熟の徹底、放課後学習の実施等で改善を図っていきます。
8	保護者が54%、児童が76%の肯定的回答で、保護者で低い数値となりました。児童が難しい学習や課題にも、根気強く最後まで取り組めるよう、学習環境や指導方法を工夫して、「努力することの楽しさ」や「達成感」を実感させるような教育活動を増やしていきます。
9	保護者が64%、児童が69%の肯定的回答で、低い数値となりました。家庭学習は授業で学んだことをしっかり身に付けるためにとっても大切です。「帰宅後すぐ」「夕食前」など生活リズムに合わせて固定化したり、時間も初めは「10分間」と短くしたり習慣化を図るため声掛けをしています。
10	保護者が80%、児童が83%の肯定的回答となりました。体育学習の充実だけでなく、保健指導も保健センター等と連携して充実させていきます。来年度もなわとび週間や持久走旬間を設定し、全校で体力づくりに取り組める機会を設定し、運動する楽しさを児童が実感できるようにしていきます。
11	保護者が82%、児童が73%の肯定的回答となりました。朝、睡眠不足で眠そうな顔で遅刻してくる児童、朝ごはんを食べていないため途中で空腹を訴える児童が一部見られています。「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を保健指導等で児童に改めて指導し、家庭と連携して改善を図っていきます。
12	保護者が90%、児童が87%の肯定的回答となりました。本校では、児童一人一人を大切に、より良い成長につなげていくために、「褒める」「認める」「励ます」指導を特に重視してきました。引き続き、児童の頑張りやよさを教員がしっかりと見取り、児童に声をかけていきます。
13	保護者が83%、児童が90%の肯定的回答となりました。分かりやすい授業を行い、児童に確かな学力を身に付けさせることは教員の責務です。今後も、教員の研修を充実させるとともに、授業改善推進プランに沿った授業改善を進め、児童の学力向上に向けて、日々研鑽を重ねていきます。
14	保護者が85%の肯定的回答となりました。保護者会や学校だより・学年だより等のお便りに加え、学校HPや学校ブログ、保護者連絡ツール「tetoru（テトル）」で今後も学校の教育活動を積極的に発信していきます。
15	保護者が93%の肯定的回答となりました。学校の設定時期等におおむね御賛同いただけていると考えます。来年度も年6回の学校公開と3回の保護者会、夏休み中の個人面談を予定しています。開かれた学校づくりに向けて、多くの方に学校へ足をお運びいただけるように内容も検討していきます。
16	保護者が87%の肯定的回答となりました。学校では、御家庭との連絡や相談は、迅速かつ適切に、必要に応じて組織的に行い、保護者の方の信頼を損なうことがないよう心掛けています。御心配なことや御質問は、いつでも学校へ御連絡ください。スクールカウンセラーとの面談もできます。
17	保護者が93%の肯定的回答となりました。防犯上の観点から、保護者の方に入校証の着用をお願いし、御協力をいただいています。児童には、毎月の避難訓練や安全指導等を通して生活安全・交通安全・災害安全について理解し、適切な行動を取れるように指導していきます。
18	保護者が81%、児童が90%の肯定的回答となりました。CSとして6年目となり、様々な教育活動を保護者や地域の皆様のお力添えのもと、進めることができています。児童についてはCS立ち上げ当初より認知度も上がってきています。保護者の皆様もCSについて一層のご理解をお願いします。

◎課題となった点については改善に向けて検討を重ねてまいります。今後も保護者・地域の方と連携を取りながら、より良い学校づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。